

ACIST NEWS

あいち産業科学技術総合センター
Aichi Center for Industry and Science Technology

NO.289

4

月号

2026年4月20日発行

- 新年度のご挨拶
- あいち産業科学技術総合センター 運営方針、2026年度事業計画
- トピックス&お知らせ
 - ・2026年度 あいち産業科学技術総合センター 幹部職員の紹介
 - ・蒲郡市の地場産業活性化プロジェクト及び「GAMA LOVE FES」で披露された衣装の三河繊維技術センターでの展示について
 - ・依頼試験等手数料の一部改定について

<編集・発行> あいち産業科学技術総合センター 〒470-0356 豊田市八草町秋合 1267-1
<https://www.aichi-inst.jp/> TEL : 0561-76-8301 E-mail : acist@pref.aichi.lg.jp



新年度のご挨拶

あいち産業科学技術総合センターの所長の片岡でございます。新年度を迎え一言ご挨拶申し上げます。

愛知県の基幹産業である自動車業界を取り巻く環境につきましては、昨年末に大きな変化がございました。欧州委員会による規制の緩和があり、一定の環境基準を満たすエンジン車、ハイブリッド車の新車販売が2035年以降も容認となりました。日系メーカーにとっては追い風ともいわれていますが、この度の不安定な中東情勢による原油高、米関税、

日中関係、インフレ圧力の高まりなど、県内産業を取り巻く環境には、依然として不透明で厳しいものがございます。このような状況下においても、日本一の製造品出荷額を誇る愛知県が日本のモノづくりをリードしていくため、県内5つの技術センター及び3つの試験場では、地域企業を技術面でしっかり支援していくとともに、本県の産業振興につながる新しいイノベーションの創出に努めてまいります。

特に注力する技術につきましては、試作品の特性評価、技術相談・指導、情報提供等の総合的な支援を行うため、5つのトライアルコア(①燃料電池、②材料表面改質、③産業デザイン(3Dプリンタ)、④繊維強化複合材料、⑤脱炭素燃料工業炉)を設置し運用してまいります。

また、「知の拠点あいち」にある本部では、ハイスpekクな高度計測分析機器を揃え、より高精度・高解像度の測定ニーズに対応してまいります。

昨年度から始まった産学行政連携による知の拠点あいち重点研究プロジェクトV期におきましては、7つの研究課題に参画し、付加価値の高いモノづくり技術の支援に向けた取り組みを実施してまいります。

これからも地域の企業の皆様から信頼され、お役に立つことができる公設試験研究機関として、しっかりと取り組んでまいります所存でございます。今後とも皆様からの一層のご利用、ご支援をお願い申し上げます。

2026年4月

あいち産業科学技術総合センター
所長 片岡 泰弘



《あいち産業科学技術総合センター 運営方針、2026年度事業計画》

運営方針

あいち産業科学技術総合センターでは、「知の拠点あいち」を核とした産学行政連携の共同研究開発の推進により、イノベーションの創出を促進し、既存産業の高度化と次世代産業の創出を図ります。また、地域企業の技術的な総合支援機関として、技術相談、依頼分析、研究開発、技術人材育成などの取組により、モノづくり産業の技術課題の解決策を提供し、愛知を支えている中小企業を支援します。

近年のデジタル技術の加速度的な進展や、産業部門への脱炭素化の要請といった、産業構造の急激な変化に加え、人手不足や原材料価格などの高騰も重なり、中小企業を始めとする県内企業の事業環境は大変厳しい状況にあります。こうした変化の大きい時代を乗り越え、地域企業の持続的な発展につなげていくため、当センターでは将来を見据えた新たな研究開発や日々直面する技術課題への対応などを通じて、本県モノづくり産業の振興に一層貢献していきます。

2026年度事業計画

1. 産学行政連携の推進

(1) 産学行政の連携による共同研究開発の推進

- 重点研究プロジェクトの推進……愛知県の地域産業が抱える技術的課題の解決に向け、大学や企業等の研究シーズを活用する共同研究開発プロジェクトを推進します。
- 国プロジェクトや各種応募型研究事業への応募・参加……地域提案型の国プロジェクト等の産学行政連携研究プロジェクトへの応募と参加を行います。

(2) 連携体制の構築・維持

- 広域的連携体制の構築・維持……中部地域公設試連携により導入した機器の活用を行います。
- 他公設試との連携……産議連連絡会議等への参加を通じて、他公設試験機関、研究機関、学協会等との人的交流と情報交換を積極的に進めます。また、他公設試験機関等と連携して、モノづくり技術の創造・発信を図ります。
- 研究会による他機関の技術者との交流……研究会の設置や提案を行います。また、他機関が主導する研究会へ参加し、広く他機関の技術者との専門的な人的交流と情報交換を進めます。

2. 研究開発の推進

- 地域の企業が抱える技術的課題解決のための基礎的な研究に加え、新たに地域において重点的に取り組む戦略的振興分野に関する研究を行います（具体的な研究テーマは、4～5 ページに掲載）。
- 企業等から提案された研究テーマについて共同研究を実施します。
- 新たな知的財産を創出するとともに、保有する特許や開発した技術の利活用を図ります。

3. 技術指導の充実

- 中小企業における工程改善、品質管理、新製品開発、他分野展開等を支援するため、所内、現場及びオンラインでの技術相談・指導を実施します。
- 重点研究プロジェクト成果活用プラザの運用により研究成果の地域企業への技術移転を図ります。

- 高度計測分析機器（シンクロtron光を含む）を活用した研究を実施し、県内企業等への高度計測分析機器の利用促進を図ります。
- 5つのトライアルコアにおいて、次世代産業を支える柱として大きな発展が期待される技術分野の開発に取り組む中小企業に対し、試作品の特性評価、技術相談・指導、情報提供、材料研究など、総合的な支援を行います。
- 釉薬テストピース・データベースを運用し、企業における陶磁器製品や釉薬の開発を支援します。
- 新あいち創造研究開発補助金により、企業等が行う研究開発や実証試験への支援を行います。

4. 依頼業務

- 企業等からの依頼により、各種計測分析機器等を用いた分析測定や性能試験を実施します。また、器具、会議室等の貸付を行います
- 企業からの依頼を受けて行う受託研究を実施します。

5. 人材育成への支援

- 中小企業の技術力向上、事業転換、新分野進出及び自社製品の市場化を支援するため、技術人材育成講座や次世代産業技術習得研修等を実施します。
- 中小企業などの技術者を対象に研修生として受け入れ、工業技術の修得あるいは研究のための指導を行い、技術者の養成を図ります。
- 業界団体、大学等との協働により、中小企業における技術人材に対し、必要な知識・スキルを実践的に取得させるため、座学と実習からなる人材育成研修を行います。また、人材育成を支援するため講師として職員を派遣します。

6. 技術開発、技術交流への支援

- 当センターの試験研究成果の発表及び技術の進展に伴う新しい情報の普及を図るために、研究会を開催します。

7. 情報の収集・提供

- 当センターの試験研究成果の発表及び技術の進展に伴う新しい情報の普及を図るため、講習・講演会を開催します。
- 当センターの研究報告、広報誌やインターネット等を活用して情報発信を行います。

8. 科学技術の普及啓発

- 将来の理系技術人材の醸成のため、こども科学教室や施設見学を開催し、モノづくりの基盤となる科学技術への興味・関心を促します。

9. 職員の資質向上

- 職員の技術支援力の強化、技術力向上、技術情報の修得のため、学会等へ職員を派遣するとともに、職員を対象とした各種研修を実施します。また、外部講師から先端技術に関する指導・助言及び技術情報の提供を受けます。

10. 試験・研究用機器の更新整備

- 当センターの機能維持強化のため、試験・研究用機器の更新整備を行います。

■ 2026年度の研究テーマ

<特別課題研究> 19テーマ

産業界の要請に対応して取り組む共同研究や応用研究

※応募型研究開発推進事業については、年度当初から実施見込または継続見込のテーマのみ記載

【技術支援部】

- シンクロトロン光利用案件組成研究
(陶磁器の鉄化学状態と色の関係性の検討)
- シンクロトロン光利用案件組成研究
(CO₂メタネーション触媒のシンクロトロン光分析)
- 人協働型セラミックス自動実験システム構築と電池材料探索プロトコル開発

【瀬戸窯業試験場】

- セラミックス用バインダーの高度化に関する研究

【産業技術センター】

- アルミニウムの表面改質に関する研究
- 超臨界CO₂ロボット加工システムによるフレキシブル生産の実現
- 機上工具成形技術を用いた高精度加工の実現による革新的金型製造技術の研究開発
- 次世代自動車の熱マネジメント革新/省エネ・小型・静音熱輸送デバイスの事業化
- 工作機械・機器の破壊的革新による大型部品製造の省エネ・省スペース・省人化

【常滑窯業試験場】

- 水素工業炉の利用促進に関する研究

【食品工業技術センター】

- 溜醤油醸造用乳酸菌スターターの濃口醤油醸造における効果の明確化
- あいちの次世代型発酵を目指した醸造用微生物の育種開発と社会実装
- 養殖魚の感染疾病における早期診断・感染防止技術の開発
- スペシャルティ酵素を用いた本格的腸活・機能性ノンアルコールビール製造への挑戦

【尾張繊維技術センター】

- 摩擦発電テキスタイルに関する研究開発

【三河繊維技術センター】

- 環境に配慮した電界紡糸法の検討
- メソ孔を有するナノ径繊維状カーボンの実用化による高活性・高耐久な燃料電池触媒開発
- 微生物産生バイオポリマー系長期海洋生分解性繊維素材の研究開発
- 伸縮性と形状記憶性を有する多機能複合素材の医療機器への応用研究開発

<経常研究> 23テーマ

各産業分野の技術支援のため、当面する課題に取り組む研究

【技術支援部】

- CFRTP 射出成形品の寸法・表面品質に及ぼす成形条件の影響
- 有機材料の断面分析技術の確立
- 3Dプリンタにおける造形精度の向上に関する研究

【瀬戸窯業試験場】

- 中山間部害獣駆除に伴う廃棄物の陶磁器への利用の検討

【産業技術センター】

- マグネシウム合金の分析方法の検討
- 脱炭素社会に向けた廃プラスチック資源の高度化に関する研究
- 金属加工における AI 活用に関する研究
- 化学的エッチングによる金属表面への微細テクスチャの創成と活用に関する研究
- 紙の高付加価値化技術の開発
- パルプモールドの新規処理法の開発
- 常温硬化樹脂の塗布処理による軟質針葉樹の表層硬質化
- 表層防火処理による国産針葉樹材の不燃化
- 自重補償ロボットシステムにおける慣性抑制とデジタルツイン活用の検討
- 機械学習による異常検知技術の製造業における時系列データへの適用に関する研究

【三河窯業試験場】

- 瓦用原料の調査研究

【食品工業技術センター】

- 画像による食品中の異物判別システムの検討
- 米麴甘酒を用いたういろうの評価
- でんぷん分解性乳酸菌による小豆の共発酵

【尾張繊維技術センター】

- サステナビリティを考慮したモノづくりの推進
- 繊維製品の光退色抑制技術の開発
- 繊維製品の欠陥検出 AI の精度向上及び推論機構の軽量化に関する研究

【三河繊維技術センター】

- 環境負荷低減に向けた染色加工におけるファインバブルの応用
- 高速引張試験機を使用した衝撃特性評価

《トピックス & お知らせ》

◆ 2026年度 あいち産業科学技術総合センター 幹部職員の紹介

あいち産業科学技術総合センター

(本部)

所長		片岡泰弘
副所長兼企画連携部長		山本晃司
管理部長兼管理課長		水野靖広
技術支援部長兼試作評価室長		原田 真
└ 瀬戸窯業試験場	場 長	市毛将司
└ 産業技術センター	センター長	太田幸伸
	次 長	小林光浩
└ 常滑窯業試験場	場 長	福田聡史
└ 三河窯業試験場	場 長	吉元昭二
└ 食品工業技術センター	センター長	福田徳生
└ 尾張繊維技術センター	センター長	加藤一徳
└ 三河繊維技術センター	センター長	杉本賢一

◆ 蒲郡市の地場産業活性化プロジェクト及び

「GAMA LOVE FES」で披露された衣装の三河繊維技術センターでの展示について

蒲郡市では、繊維産業を活性化し、地域ブランド「三河木綿」の魅力を全国に発信するため、2023年度から2025年度にかけて「地場産業活性化プロジェクト」を実施しました。本プロジェクトでは、繊維関連企業の若手を中心としたメンバーが、産地の技術とノウハウを活かした新たなアパレル製品を製作し、ファッションイベント「東京ガールズコレクション(TGC)」で披露するなどの取り組みを行ってきました。

プロジェクトの集大成として2025年11月1日に蒲郡市で開催されたイベント「GAMA LOVE FES」

には、のべ約8,000人が来場し、スペシャルステージ「MIKAWA PALETTE produced by TGC」のファッションショーは盛況を博しました。

三河繊維技術センターは本プロジェクトに参画しており、2026年3月3日に開催した研究成果普及講習会では、本プロジェクトで製作され「GAMA LOVE FES」で披露された衣装の展示を行いました。また、センター内の展示スペースでは、これまでの取り組みと製作した生地及び衣装の一部を紹介しています。ご興味のある方はぜひお立ち寄りください。



三河繊維技術センターでの衣装展示

●問合せ先 三河繊維技術センター 電話：0533-59-7146

◆ 依頼試験等手数料の一部改定について

あいち産業科学技術総合センターでは、企業等からの依頼により、各種計測分析機器等を用いた分析測定や性能試験を実施しています。これらの試験を依頼する際には、所定の手数料を納めていただいております。

このたび、令和8年4月1日より、依頼試験等手数料を一部改定いたしました。詳しくは下記URLをご参照ください。

手数料の改定について、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

●詳しくは https://www.aichi-inst.jp/news/up_docs/R8_tesuuryou_kaitei.pdf

●問合せ先 上記 Web ページ記載の各センターの管理課もしくは総務課にお問合せください